

発表会の手引き

自分たちの手で調査した
地域の秘密や謎を
友だちに紹介しよう！



これから
発表を
はじめます

中学校 年 組 番

名前

1. 発表会の極意 基本編①

大きな声で、ゆっくりと、顔を上げて、元気よく！



●調査内容を発表しよう

さあ、調査活動が終わり、レポートも完成したら、発表会を行いましょう。自分の考えを大勢の人に伝えるには、ちょっとしたコツがあります。

①大きな声で…

せっかくよい発表をしても声が小さければ、相手に自分の考えが伝わりません。教室の一番後ろの生徒に聞こえるような大きな声で発表しましょう。

②ゆっくりと…

だれでも最初のうちは、発表するときに緊張してしまいます。緊張するとつい早口になってしまいます。「ちょっと、遅いかな？」と思って話すくらいがちょうど聞きやすいスピードになります。

③顔を上げて、元気よく！

下を向いた原稿を棒読み…これでは自分の言いたいことがなかなか相手に伝わりません。文章の合間に「チラ」でもいいから顔を上げて、教室のみんなに向かって発表するようにしましょう。

また、一つ一つの文章に気持ちがこもっている方が、相手に自分の言いたいことが伝わりやすくなります。「自分の思い」を込めて元気よく発表しましょう。

2. 発表会の極意 基本編②

自分の言葉で原稿を書こう！



地域の高齢者の方から
「このまちを

スエシジュウ

頼みますよ」と
言われたけれどスエシジュ
ウてなんだろう？

※末始終（スエシジュウ）～「のちのち（まで）」の意の老人語 将来ずっと

●必ず発表原稿を用意しよう

短い時間に、自分の伝えたいことを発表するには、事前に発表する内容をきちんと原稿にする作業が必要です。

自分が作成したレポートの中から、発表したい箇所を選び、原稿を書きましょう。

その際、発表する自分自身でさえ意味がわからない言葉や語句を使ってはいけません。

難しい語句は、誰が聞いても耳でわかるような言葉に変えて、原稿を作成しましょう。

つまりポイントは自分の言葉で原稿を作成することです。

発表の流れ

1. はじめの言葉
- ↓
2. テーマ設定理由
- ↓
3. 地図
- ↓
4. 調査内容(インタビュー形式)
- ↓
5. 私の意見(個別に)
- ↓
6. 調査エピソード(裏話)
苦労話 3択クイズ
- ↓
7. おわりの言葉

3. 発表会の極意 基本編③

家でリハーサルをしよう！



●家でリハーサルをすれば、成功まちがいなし

今回の発表時間は一人、または複数の場合どちらも5分間です。

「一発本番でなんとかなるだろう」と思っている人も多いかと思いますが、発表会の評価の観点をしっかり確認して、家で時間を計って何度もリハーサルをしておきましょう。

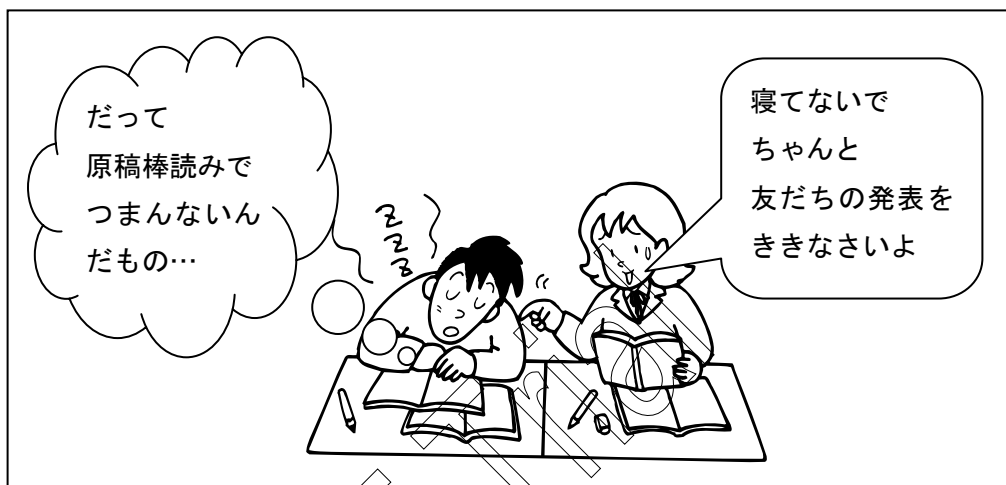
その際、家の人の前で一度練習しておくこと、教室での発表では緊張することなく落ち着いて発表でき、成功まちがいなしです。

特にグループで発表する場合は、休み時間や放課後を利用して必ず打ち合わせとリハーサルをしておきましょう。

地域調査発表会評価の観点合計		10点満点
1. 発表態度	①大きな声でゆっくりと顔を上げて話しましたか？	2点
	②時間を有効に使いましたか？	1点
2. 調査内容	③テーマ設定理由をはっきり述べましたか？	1点
	④テーマについて十分調査してありましたか？	2点
	⑤苦労話、3択クイズなど工夫してありましたか？	1点
3. まとめ	⑥自分の考えをはっきり述べましたか？	3点

4. 発表会の極意 応用編①

発表にひきつける工夫！



●聴衆者参加型の発表会の工夫 ～キャッチボールをしよう～

① 原稿の書き方

原稿の文章の中に「みなさんは、この場所に行ったことがありますか？」「みなさんは、どう思いますか？」などという言葉を入れると、発表を聞いている生徒は、自分のこととして発表を聞くようになります。

② 手をあげてもらう

発表の途中に「このお店の店長さんを知っている人は手をあげてください」「私の考えに賛成の人は手をあげて下さい」など手をあげて意志表示してもらい呼びかけをすると、聴衆者も発表に参加するようになります。

③ 3択クイズを入れる

調査活動の中で、みんなが知らないような内容を発表する場合は、そのまま発表しないで3択クイズにしましょう。発表が楽しくなります。(次ページ参照)

④ 指名してしまう

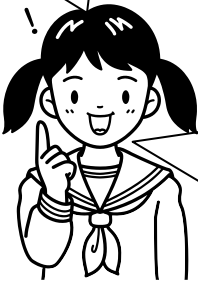
「〇〇くんは何が好きですか？」「〇〇さんはどう思いますか」などとズバリ指名して意見を聞くと発表が深まります。指名する人を誰にするか事前によく考えて、また誰でも答えられるような質問にしましょう。

※発表を聞く人にも心地よい緊張感を持って聞いてもらうことが大切です

5. 発表会の極意 応用編②

3択クイズで盛り上げよう！

私は花屋さんを調べました。



さて問題です。この花屋さんが花の並べ方で気をつけていることは何でしょうか？

- ① 同じ色の花が並ばないようにしている。
- ② 値段の安いもの（サービス品）を前、比較的値段の高いものは店の奥に並べる。
- ③ 満開で咲いているものを店の前に、これからたくさん咲きそうなたつぼみがついているものは店の奥に並べる。

●3択クイズでゲーム感覚の発表会

①問題を作るコツ

自分が聞き取り調査した中で、自分だけが知っている秘密みたいなものや、楽しいエピソードなどを問題にしましょう。（数を聞く問題は作るのは簡単ですが、今ひとつおもしろみにかけます）

②3択の選択肢を作るコツ

3択の選択肢の解答を作るときは、いかに、もっともらしいウソを作るかがポイントです。そのためにはどれも本当だと思わせるような解答を作りましょう。

その時に理由も述べて選択肢を考えるとだましやすいです。

紙に書く

③小道具のコツ

実際の発表会の時は、紙に3択の選択肢の答えを書いたものを用意します。

聞いている人たちは耳で聞いただけでは、忘れてしまいます。

- ①花の色
- ②値段
- ③満開とつぼみ

※あまりよくない問題例

Q、〇〇区には老人ホームがいくつあるでしょうか？

- ① 5個
- ② 6個
- ③ 7個

6. 発表会の極意 応用編③

インタビューシーンの再現を！



●臨場感あるインタビューシーン

①一人二役

発表会の中心となる調査活動のインタビューシーンは、その時の様子が聞いている人によくわかるようにちょっと工夫して発表してみましょう。

たとえばその人の雰囲気がわかるようなしゃべり方をしてみるだけでも、発表会がグッと盛り上がります。

個人での発表は大変ですが、具体的には声の大きさ・高さ・スピードを変えてみるとよいでしょう。

※友達にお願いして、お手伝い(インタビュー役)してもらってもかまいません。

②グループでは役割分担

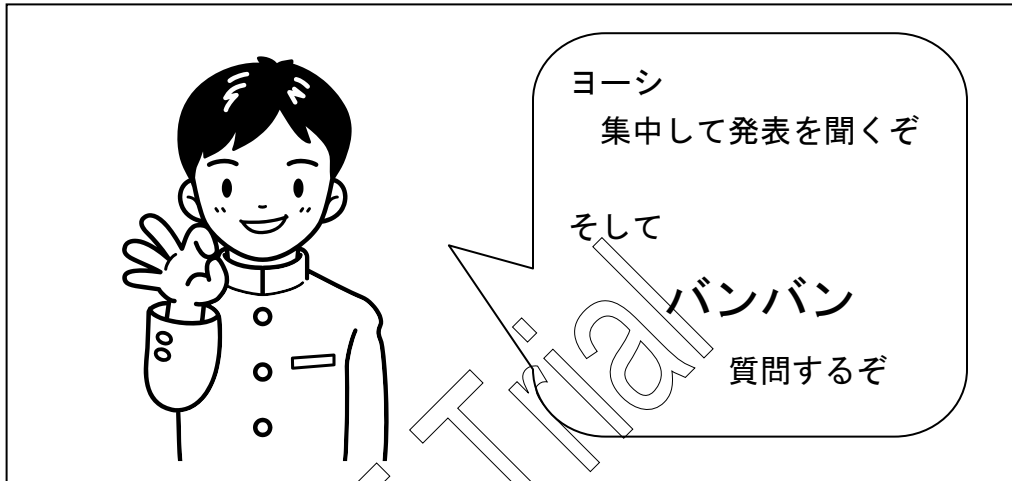
複数で発表する場合は、インタビューする生徒役の生徒、インタビューされる人物(店長さん、お客さん)役の生徒などに役割分担をして発表しましょう。

その際店長さんは帽子をかぶるなど、ちょっとした小道具の工夫でさらに発表会がもりあがります。

この他にも音楽を入れたり、自分たちで工夫して楽しいインタビューシーンを再現してみましょう。

7. 発表会の極意 応用編④

発表の聞き方！



●発表の聞き方

①発表者に注目しよう。

今まで、話してきたように発表者は自分が伝えたい内容をいろいろ工夫して(ドキドキしながら)発表を行います。

発表者の要望(たとえば手を上げてください。三択クイズなど)にきちんと反応して発表者と一緒になって、発表会を盛り上げていきましょう。

②疑問点・意見を出しあおう。

発表内容についての疑問点・意見を評価表にメモしながら発表を聞きましょう。

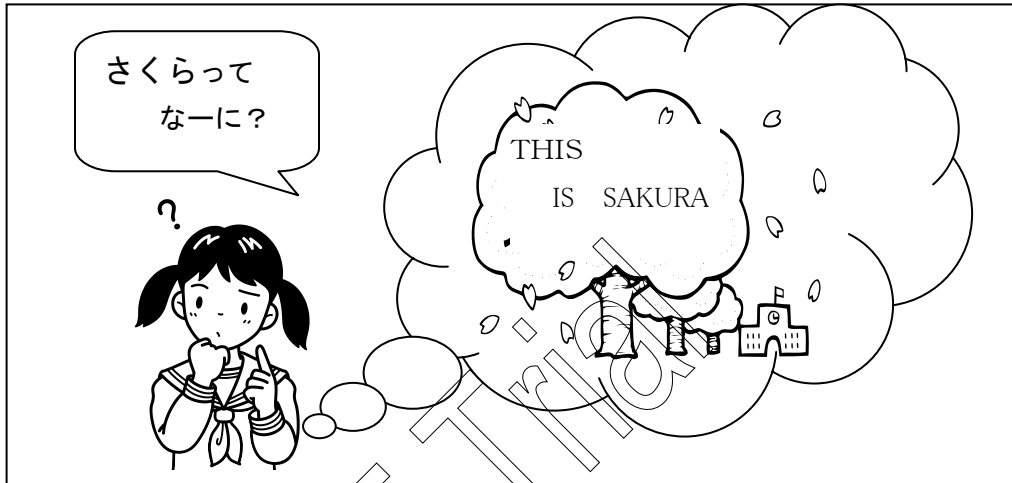
そして、発表が終わったら質疑応答・意見交換の時間がありますから、遠慮せずにとんどん疑問点や意見を発言しましょう。

③大きな拍手を忘れずに

発表の始めと終わりには大きな拍手をしましょう。もちろん発表に関係ないおしゃべりなどは発表者に大変失礼です。発表者は前の夜からドキドキしながら準備を進めてきました。自分が発表するときのことを考えて行動しましょう。

8. 発表会の極意 応用編⑤

さくら・サクラ・sakura!



● 質疑応答の練習をしよう

発表が終わったら、質問や意見の交流をします。意見交換することによって単なる調べ発表学習ではなく、自分の考えが深まっていきます。

しかし、慣れるまでなかなかうまく質問や意見交換ができなくて、とてもむずかしいと感じます。

そこで質疑応答の体験をすることによって、その方法を学びましょう。

ここではさくらを取り入れて、人前で質問をしたり答えたりする方法を紹介します。

※さくらとは…縁日や盛り場の露店などで、客のふりして品物をほめたり、進んで買ったりしてお客さんの買い気をそそる役をする人(仲間)。

つまり事前に質問してもらいたい内容を友だちに伝えておき、(さくらになつてもらう)発表後、質問してもらいましょう。発表者はきちんと答えは用意してあるわけですから、回答にはこまりません。

もちろん、さくらにならなかった人もどんどん手をあげて質問や意見をいってもかまいません。1時間の授業の中で1回は発言するように心がけましょう。